

令和5年度府中市立武蔵台小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 漢字や言葉の特徴や使い方、計算等の基礎・基本的な事項について質・量ともにバランスよく学ぶこと。
- ② 自分の考えをもち、友達とすすんで話し合ったり、伝えたりすることを通して、学ぶこと。
- ③ 読書等による文章や図、資料を読みとることを通して、大切なポイントを考えや、学ぶこと。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 主体的・対話的で深い学びを重視した授業形態。児童が主体的に学習に向かい、友達や教材と対話する機会の多い指導。
- ② 自ら課題を見付け、解決方法を模索し追究する力を育成できる指導。
- ③ 多様な体験活動を設定した授業や特別支援教育の観点を重視した指導。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ① 最後まであきらめずに取り組み、自分の考えや意見をしっかりと書いたり、話したり、練習したりすることができる児童。
- ② 友達と話し合ったり、考えたりしながら協力して学びを深められる児童。
- ③ タブレット端末や本や図鑑など様々な方法で調べたり、解決したりすることができる児童。

(2) 目指す授業像

- ① めあてや学習の流れの提示で児童が見通しをもち、児童が考えを友達と共有したり、協働したりすることで学びを深められる授業。
- ② 問題提示、課題発見、仮説、課題解決、考察、まとめの流れを重視した授業。
- ③ 特別支援教育の観点を重視し、誰もが分かりやすく、できたと思える授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	「話すこと・聞くこと」を扱う単元においては、自分の考えをもち、様々な方法や言葉を用いて表現させる指導を充実する。	音楽	グループ活動を積極的に取り入れ、児童同士で高め合い、課題解決に向けスモールステップになるような授業展開にする。
社会	単元の学習課題を児童と共に設定し、資料等を活用し、課題解決に向けた追究活動を主とした授業展開にする。	図画工作	制作活動にて、友達の作品鑑賞の時間を設定し、工夫した点、良い点を見つけ合い、学び合って高め合えるような授業展開にする。
算数	算数的活動等の体験活動を通して、理解を深めたり、問題の意図を理解し、思考・判断し、表現したりする活動を多く設定する。	家庭	日常生活の中から課題を見出して解決方法を考える場面を設け、家庭での実践につなげられるような授業展開にする。
理科	観察や実験において、課題⇒仮説⇒実験・観察⇒結果⇒考察⇒まとめの学習の流れより論理的に児童が考える授業展開にする。	体育	スモールステップになるような目標を明確に設定し、友達と協働しながら課題解決をしていく活動を多く設定する。
生活	児童がやりたい課題を児童が見付け、その課題解決をしながら取り組める授業展開にする。	外国語	楽しんで取り組める活動や課題を設定し、すすんで理解が高まるような授業展開にする。

(2) 児童用タブレット端末の活用

観察等でカメラを使用し画像を拡大して詳細まで見たり、絵を描く時間を短縮し観察したりする時間を確保する。調べ学習で、WEB や動画を視聴したり、発表の際にアプリ等を活用して分かりやすく発表したりする。